第１９３回 糖尿病教育学習研究会（トップセミナー）
第２３２回 ＩＩＤＥＳ糖尿病研究会
第１６７回 ＣＤＥ兵庫県連合会研究会
―合同研究会のご案内―

日　　時　：　２０２６年１０月２４日（土）　１４：００～１７：００
場　　所　：　神戸国際会館８階 ８０２・８０３号室
　　神戸市中央区御幸通 ８－１－６　TEL：０７８-２３０-３１９６
プログラム　：

14:00～15：45　（座長：松下　健次　医療法人社団 仁和会 神野病院 副院長、
ＮＰＯ法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事）

（14:00～14:30）

基礎講座 20.　『１型糖尿病診療の歩みと現在、そして今後の課題』

兵庫県立淡路医療センター　糖尿病・内分泌内科　**芳野　啓 先生**

（14:30～15:45）

講演１.　『循環器内科医からみた糖尿病診療』

新須磨病院　内科医長　**玉田　直己 先生**

15:45～17:00　（座長：芳野　原　医療法人社団 慈恵会 新須磨病院 常任学術顧問　糖尿病センター長、
東邦大学名誉教授、NPO 法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事長）

講演２.　『糖尿病と EBM』

兵庫医科大学　糖尿病内分泌内科学　講師　**小西　康輔 先生**

注）① 会場とオンライン同時配信によります**ハイブリッド講演会**になります。
② 会場参加者は必ずマスク着用をお願いします。また、発熱がある方は入場をお断りしますので、体温を測定してからお越しください。

（１）参　加　費：2,000 円
（２）申 込 方 法：事務局へご氏名、ご所属、職種、ご連絡先、オンライン参加 or 会場参加、必要な単位申請先を明記の上、E-mail（パソコンからの発信可能アドレスをお知らせください）、またはFAXにてお願いいたします。
注）CDEJ 更新のための認定単位が必要な方は Web 講習は対象外です。また、日病薬薬学認定制度の認定単位が必要な方は、本オンラインでは単位対応できません。会場参加でお願いいたします。
（３）連絡事務局：特定非営利活動法人　国際糖尿病教育学習研究所（NPO－IIDES）
〒651-1112　神戸市北区鈴蘭台東町 7-10-16
TEL：078-591-7515　　FAX：078-591-7512
E-mail：yoshino@npo-iides.or.jp

※　日医生涯教育講座認定　基礎講座 20：CC76・0.5 単位、講演１：CC 76・１単位、講演２：CC76・１単位
※　日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会〈第２群〉１単位 26-0269（オンライン参加不可）
※　日病薬薬学認定制度　V-2・２単位（オンライン参加不可）
※　糖尿病療養指導士兵庫県連合会　認定更新のための研修会　２単位

共催：特定非営利活動法人　国際糖尿病教育学習研究所
糖尿病療養指導士兵庫県連合会
一般社団法人　兵庫県病院薬剤師会
住友ファーマ株式会社

オンライン参加の方へ

1．オンライン参加をお申込みされた方へは、参加費振込先を申込メールアドレスにお送りいたします。
（オンライン参加費振込締切日は 10 月 22 日まで。振込手数料は各自でご負担願います。入金された参加費については、返金対応いたしませんのでご了承ください。）
2．入金確認後、事前登録 URL を申込メールアドレスにお送りいたします。
3．当日オンライントラブル連絡先：住友ファーマ株式会社 窓口　伊藤（TEL:080-6104-9128）
※ご連絡いただく「個人情報」は本会運営の目的のみに使用させていただきます。

【 認定単位の必要な方へ 】（単位取得までの流れ）

■ 受講確認のため、受講中に３回キーワードを発表します。必ずメモしてください。
キーワードが全部合致しない場合は、受講したものと認めませんのでご注意ください。

1．糖尿病療養指導士兵庫県連合会認定に関して
受講後、当日中に３回のキーワード、ご氏名、認定番号、送付先住所を事務局メールアドレスにお送りください。
キーワードが合致した方のみ、参加証（単位申請用）を送付いたします。

2．日医生涯教育講座認定に関して
受講後、当日中に 3 回のキーワード、ご氏名（ふりがな）、所属医師会、医籍番号を事務局メールアドレスにお送りください。
キーワードが合致した方のみ、単位申請いたします。

― 抄　録 ―

基礎講座 20.　『１型糖尿病診療の歩みと現在、そして今後の課題』
芳野　啓 先生　兵庫県立淡路医療センター 糖尿病・内分泌内科

インスリンの発見は、１型糖尿病を致死的疾患から生涯治療が可能な疾患へと変えた。その後、自己免疫機序の解明、インスリン頻回注射療法、持続血糖測定器、インスリンポンプの導入により予後と血糖管理は改善した。さらに発症前を含む Stage 1～3 という疾患概念の確立とテプリズマブの登場により、治療対象は臨床発症前へと広がっている。今後は根治療法や β 細胞補充療法の確立とともに、早期診断後の診療体制構築が求められる。

講演１.　『循環器内科医からみた 糖尿病診療』
玉田　直己 先生　新須磨病院　内科 医長

糖尿病診療では、HbA1c に代表される血糖指標の改善に加え、心血管イベントの予防を見据えた包括的なリスク管理が重要である。近年、SGLT2 阻害薬および GLP-1 受容体作動薬の心血管・腎保護効果が示され、治療薬の選択は血糖降下作用のみでは語れなくなった。本講演では、循環器内科医の立場から、心血管リスクの評価と低減を軸とした糖尿病治療戦略について概説する。

講演２.　『糖尿病と EBM』
小西　康輔 先生　兵庫医科大学 糖尿病内分泌内科学 講師

本講演では、「糖尿病と EBM」をテーマに、インスリン発見以降の糖尿病治療の進歩を、大規模臨床試験の成果と EBM の重要性を軸に振り返る。UKPDS をはじめとする代表的な臨床試験から、近年の心血管・腎アウトカム試験までのエビデンスの蓄積により、糖尿病治療は単なる血糖降下のみならず、臓器保護や生命予後の改善を重視する時代へと発展してきた。また、DPP-4 阻害薬、GLP-1 受容体作動薬、SGLT2 阻害薬など多様な治療薬の位置づけを整理するとともに、同種同効薬であっても必ずしも同等の有効性や安全性が示されているわけではなく、各薬剤の臨床試験で得られたエビデンスを踏まえた適切な薬剤選択の重要性について概説する。

◇会場案内図（神戸国際会館）

神戸国際会館　会議室 802・803 号室
（神戸国際会館１Ｆ奥の東エレベーターをご利用下さい。）

